報道関係各位
展覧会のご案内

見出し

「Artist Café Fukuokaで、九州大学の学生による展示が１１月１４日から開催」

Summary

日々私たちが何気なく座る「椅子」。その一脚一脚には、かたちや素材の違いを超えて、つくり手の思想や時代の空気が宿っています。
本展「椅子のがっこう」では、永井敬二氏のコレクションの中から、九州大学で芸術工学を専攻する学生たちがそれぞれ一脚を選び、「イス格（人格）」を与えて展示します。
永井氏は、1300脚を超える椅子をはじめ、世界中から約2万5000点ものデザインを蒐集してきた椅子コレクターです。その膨大なコレクションの中には、生活文化の変遷やデザイン史の息づかいが刻まれています。
学生たちは、その一脚の「人生」を想像し、小学校の卒業式をモチーフに展示を構成。椅子たちの「成績表」を添えたキャプションとともに、個性豊かな椅子が集います。

（画像1.2　福岡県椅子コレクション倉庫）

デザインに詳しくない人にも、椅子の奥深い魅力と多様な表情を感じていただける展示です。

Profile

1948年、佐賀県唐津市生まれ。
福岡＜岩田屋インテリア＞を経て、82年にデザインスタジオ＜ケイアンドデザインアソシエイツ＞を設立。
モダンデザインのコレクターとして国内外に知られ、これまで数多くの展覧会に貴重なコレクションを出展し、デザイン文化の発展に寄与してきた。その功績が認められ、97年にデンマーク王国より「Furniture Prize」を受賞。2024年に逝去。

Topics

「座るための道具」にも、性格があります。
同じように見える椅子でも、背筋をぴんと伸ばしたもの、少し気取ったもの、つい話しかけたくなるもの——それぞれに違う“イス格”があるのです。
今回、九州大学の芸術工学を専攻する学生たちは、永井敬二氏が長年にわたり世界中から集めてきた膨大なコレクションの中から、一脚の椅子を選び、その“人生”を想像しました。
そして、小学校の卒業式をモチーフに、個性豊かな椅子を並べます。
真面目な優等生の椅子もいれば、どこか不器用で愛らしい椅子もいる。

会場の中で、椅子たちは静かに、自分の「これまで」と「これから」を語りかけてきます。
椅子を見る目が、きっと少し変わる――そんな“がっこう”です。

Outline

展覧会名　椅子のがっこう
The School for Chairs

会　期　2025年11月14日（金）～11月18日（火）
開館時間：11：00～19：00
休館日：月曜日

料　金　入場無料

会　場　Artist Cafe Fukuoka　グランドスタジオ
〒810-0043 福岡市中央区城内2-5
https://artistcafe.jp/

交通案内　福岡市美術館東口バス停から徒歩4分
地下鉄「大濠公園駅」から徒歩13分

主　催　九州大学芸術工学部 尾方義人研究室

企画制作　2025 コース融合プロジェクト・スタジオプロジェクト
「永井敬二コレクションの展示デザイン」内野々智博・堂面海来・松村直人・原田青代子・山本晃泰・三浦未希・野々下そら・川畑優奈・坂井瞳・斎藤優人・梅田兼嗣・川野友花・北川礼・岡部咲花

協　力　特別協力：K&DESIGN COLLECTION

後　援　九州大学芸術工学部プロダクトデザイン研究室
一般社団法人プロダクトデザイン研究所

展覧会紹介

九州大学の芸術工学を専攻する学生たちが、椅子コレクター・永井敬二氏の膨大なコレクションの中から一脚を選び、その椅子に「人格（イス格）」を与えました。
様々な椅子が集い、それぞれの“人生”を想像して構成された本展「椅子のがっこう」。
会場では、卒業式をモチーフにした展示空間とともに、椅子たちの“成績表”も公開されます。
デザインを学ぶ者たちの新鮮なまなざしから、椅子という身近な存在の奥に潜む個性を見つめ直します。